



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 前澤化成工業株式会社
 コード番号 7925 URL <http://www.maezawa-k.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊東 正博

TEL 03-5962-0711

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,020	11.1	373	18.3	513	9.5	308	13.2
2020年3月期第2四半期	11,266	4.4	457	52.9	567	35.4	355	28.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 795百万円 (107.3%) 2020年3月期第2四半期 383百万円 (12.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	20.82	
2020年3月期第2四半期	23.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	43,834	36,864	84.1
2020年3月期	43,890	36,367	82.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 36,864百万円 2020年3月期 36,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		20.00	35.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,055	5.6	845	9.1	1,085	7.1	695	2.3	46.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	15,732,000 株	2020年3月期	15,732,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	913,409 株	2020年3月期	913,349 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	14,818,625 株	2020年3月期2Q	14,912,681 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、企業収益や雇用情勢が急速に悪化するなど厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言の解除後は、段階的な経済活動の再開とともに一部の業種では回復の兆しが見受けられますが、新型コロナウイルス感染症の終息時期が未だ見通せない中、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループと関連の深い上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界におきましても、戸建住宅・賃貸住宅を中心に新設住宅着工戸数が前年同期に比べ10%程度の落ち込みを見せており厳しい事業環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染予防と業績への影響を最小限に抑え効率的な事業運営を図ることを目的とした対策本部を設置し、衛生管理の徹底や通勤時の感染リスクを低減するための時差出勤・テレワーク勤務体制の構築などの対策を講じつつ、中期経営計画「TakeAction2020」の最終年度として、各施策への取り組みを続けてまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う新設住宅着工戸数の落ち込みや各種プラスチック成形分野の受注額が大きく減少したことにより、売上高、利益ともに前年同期を下回りましたが、営業活動が制限されたことで販売費をはじめとした諸経費が大きく減少したことや全社で経費の抑制に取り組んだ結果、利益面への影響は比較的小さくとどめることができました。

以上により、売上高100億20百万円(前年同期比11.1%減)、営業利益3億73百万円(同18.3%減)、経常利益5億13百万円(同9.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億8百万円(同13.2%減)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①管工機材分野

管工機材分野につきましては、売上面では、ビル設備分野製品である「ビニコア」や都市型水害対策製品である「雨水貯留浸透槽」は前年に引き続き好調でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う新設住宅着工戸数の落ち込みの影響等により、当社の主力製品である戸建住宅向け製品の売上高は、前年同期を下回りました。

利益面では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う自粛要請により、予定していた大型の製品展示会の中止など営業活動が極端に制限されたこと、全社で経費の抑制に取り組んだことから、販売費をはじめとした諸経費が大きく減少した結果、前年同期を上回りました。緊急事態宣言解除後も、3密を避けるためリモート会議を多く活用するなど、引き続き感染拡大防止と経費の抑制に取り組んでおります。

以上により、売上高91億38百万円(前年同期比9.3%減)、セグメント利益5億1百万円(同2.6%増)となりました。

②水処理分野

水処理分野につきましては、多様な水処理システムの積極的な提案活動を行い、食品関係を中心とした工事及びメンテナンス業務の受注を図るとともに、収益改善を行うべく、商材販売についても注力してまいりました。

売上面では、大型工事案件の売上などにより、前年同期を上回りましたが、利益面では、原価低減と経費削減に努めたものの改善には至らず前年同期と同水準となりました。なお、第2四半期において排水処理設備のメンテナンス業務等を数多く受注できたことで、今後収益への寄与が期待できます。

以上により、売上高2億71百万円(前年同期比9.1%増)、セグメント損失61百万円(前年同期は、60百万円のセグメント損失)となりました。

③各種プラスチック成形分野

各種プラスチック成形分野につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う製造業の需要低迷・業績不振などから、主要得意先からの受注額が大幅に減少し、売上高、利益ともに前年同期を大きく下回る結果となりました。

国内製造業全般に回復は鈍く、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準まで戻るには時間を要し、引き続き厳しい状況が続くものと想定されます。

以上により、売上高7億54百万円(前年同期比31.8%減)、セグメント損失66百万円(前年同期は、28百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ55百万円減少し、438億34百万円となりました。これは主として、減価償却により有形固定資産が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ5億52百万円減少し、69億70百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金、未払法人税等やその他に含まれている未払費用が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億97百万円増加し、368億64百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は99億5百万円となり、前年同期と比べ10億53百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億76百万円の収入となりました(前年同期は、12億85百万円の収入)。これは主に、売上債権の減少により資金が増加しましたが、法人税等の支払額又は還付額の増加や仕入債務の増減額の減少により資金が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億15百万円の支出となりました(前年同期は、5億3百万円の支出)。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億5百万円の支出となりました(前年同期は、4億28百万円の支出)。これは主に、自己株式の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の動向を踏まえ、2020年7月31日に公表いたしました2021年3月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、公表した業績予想につきましては今後も新型コロナウイルス感染症の影響が暫くは続くものと想定し、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき算定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の第2波等によって状況が更に深刻化することは想定しておらず、その影響額は織り込んでおりません。引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,449	11,905
受取手形及び売掛金	5,282	4,909
電子記録債権	3,083	2,690
有価証券	1,500	2,100
商品及び製品	2,116	2,092
仕掛品	558	586
原材料及び貯蔵品	533	545
その他	588	673
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	25,110	25,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,111	13,132
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,040	△7,238
建物及び構築物（純額）	6,071	5,894
機械装置及び運搬具	12,324	12,176
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,941	△10,979
機械装置及び運搬具（純額）	1,382	1,197
工具、器具及び備品	18,263	18,234
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,952	△17,962
工具、器具及び備品（純額）	310	272
土地	4,497	4,497
建設仮勘定	65	109
その他	132	150
減価償却累計額	△7	△15
その他（純額）	124	134
有形固定資産合計	12,452	12,105
無形固定資産		
ソフトウェア	158	111
その他	23	62
無形固定資産合計	182	174
投資その他の資産		
投資有価証券	5,496	5,564
繰延税金資産	166	13
その他	632	627
貸倒引当金	△150	△150
投資その他の資産合計	6,145	6,055
固定資産合計	18,780	18,334
資産合計	43,890	43,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,914	2,749
電子記録債務	451	387
短期借入金	430	430
未払法人税等	342	181
役員賞与引当金	37	17
賞与引当金	379	394
固定資産撤去費用引当金	20	20
その他	1,897	1,635
流動負債合計	6,475	5,816
固定負債		
繰延税金負債	—	123
役員株式給付引当金	19	28
退職給付に係る負債	600	566
資産除去債務	224	224
その他	204	210
固定負債合計	1,048	1,154
負債合計	7,523	6,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	26,854	26,864
自己株式	△1,045	△1,045
株主資本合計	35,559	35,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111	1,575
退職給付に係る調整累計額	△304	△280
その他の包括利益累計額合計	807	1,294
純資産合計	36,367	36,864
負債純資産合計	43,890	43,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,266	10,020
売上原価	7,774	6,796
売上総利益	3,491	3,224
販売費及び一般管理費	3,034	2,851
営業利益	457	373
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	51	75
受取賃貸料	44	37
貸倒引当金戻入額	—	0
その他	24	29
営業外収益合計	125	147
営業外費用		
支払利息	1	2
賃貸費用	4	4
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	7	0
営業外費用合計	14	7
経常利益	567	513
特別利益		
固定資産売却益	0	2
その他	—	0
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	15	0
固定資産除却損	2	2
減損損失	14	—
その他	0	0
特別損失合計	32	2
税金等調整前四半期純利益	535	514
法人税、住民税及び事業税	194	142
法人税等調整額	△14	63
法人税等合計	179	205
四半期純利益	355	308
親会社株主に帰属する四半期純利益	355	308

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	355	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	463
退職給付に係る調整額	14	23
その他の包括利益合計	28	487
四半期包括利益	383	795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	383	795

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	535	514
減価償却費	654	598
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	14
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△19
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	4	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	△33
退職給付費用	21	33
受取利息及び受取配当金	△55	△80
支払利息	1	2
固定資産売却損益 (△は益)	15	△2
固定資産除却損	2	2
減損損失	14	—
売上債権の増減額 (△は増加)	517	768
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37	△15
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44	△235
その他	△207	△291
小計	1,396	1,264
利息及び配当金の受取額	56	80
利息の支払額	△1	△2
賃貸料の受取額	34	28
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△200	△294
その他	—	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,285	1,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000	△2,000
定期預金の払戻による収入	2,000	2,000
有価証券の取得による支出	△4,000	△2,100
有価証券の償還による収入	4,000	2,100
有形固定資産の取得による支出	△454	△302
有形固定資産の売却による収入	32	2
無形固定資産の取得による支出	△78	△9
投資有価証券の取得による支出	△6	△2
その他	2	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△503	△315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,700	2,580
短期借入金の返済による支出	△2,700	△2,580
自己株式の取得による支出	△154	△0
配当金の支払額	△271	△298
その他	△2	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428	△305
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	354	455
現金及び現金同等物の期首残高	8,497	9,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,852	9,905

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2017年6月27日開催の第63回定時株主総会決議に基づき、取締役（社外取締役を除きます。以下同じ。）を対象とする業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度は、当社の業績及び株式価値と取締役の報酬との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットを享受するのみならず株価下落リスクをも負担し、株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

①取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下「本信託」といいます。）が当社株式を取得し、業績達成度等一定の基準に応じて当社が各取締役に付与するポイントの数に相当する一定数の当社株式が本信託を通じて各取締役に對して交付されるという、業績連動型の株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株、当第2四半期連結会計期間の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、新設住宅着工戸数の減少等の影響により、当連結会計年度の業績は悪化が見込まれ、当連結会計年度中はその影響が続くと仮定を置いて会計上の見積り（主として、繰延税金資産の回収可能性等）を実施しております。

なお、前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）に記載した新型コロナウイルス感染症の終息時期等を含む仮定については重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	10,080	248	937	11,266	—	11,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	168	168	△168	—
計	10,080	248	1,106	11,435	△168	11,266
セグメント利益又は 損失(△)	489	△60	28	456	0	457

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種プラスチック 成形分野	本社・消去	合計
減損損失	—	14	—	—	14

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	9,138	271	610	10,020	—	10,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	143	143	△143	—
計	9,138	271	754	10,164	△143	10,020
セグメント利益又は 損失(△)	501	△61	△66	373	0	373

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。